

病院機能の変更に係る整備計画報告書

- 1 病院名：旭ヶ丘病院
- 2 所在地：埼玉県日高市大字森戸新田 99-1
- 3 開設者：医療法人積仁会 理事長 古城 資久
- 4 病床数
 変更前：142 床（一般病床 52 床、療養病床 90 床）
 （医療機能別内訳：急性期 26 床、回復期 26 床、慢性期 90 床）
 変更後：142 床（一般病床 82 床、療養病床 60 床）
 （医療機能別内訳：急性期 19 床、回復期 63 床、慢性期 60 床）

5 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 元 年 11 月
2	建築（着工）	平成 年 月
3	建築（竣工）	平成 年 月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	令和 元 年 11 月
6	病床機能変更	令和 元 年 12 月

6 整備方針、目標

当院は、急性期病床（一般 26 床）、回復期病床（地域包括ケア 26 床）慢性期病床（療養 90 床）、の合計 142 床で運営を行っております。

患者は日高市在住の方が大多数を占めますが、圏域の市町村の方もおります。

急性期病床においては、年間約 300 件の救急車受入れを行っており、二次救急医療機関として救急輪番制へ参加しております。

比較的軽症の患者の受入れを中心にかかりつけ患者については断ることがないように受入れ行っております。

また、「在宅療養支援ベッド確保事業」にも参加しており、在宅・介護施設等からの緊急入院にも柔軟に対応できるよう取り組んでおります。

回復期病床においては、当院の急性期病床及び高度急性期病院からの受入れを行っております。

慢性期病床においては、60 床と 30 床の 2 病棟で構成しており、ターミナルの患者や医療依存度が高く在宅復帰が見込めない患者と、医療区分が低く在宅復帰を見込める患者が混在しています。

こうした状況の中、平成 31 年 3 月に当法人の理事長が変更となりました。それに伴い、

今後の経営方針として「地域から求められる病床機能を充実させ、より地域医療に貢献する」ことを掲げ、回復期機能の充実による病床機能の一部転換を行うことと致しました。

人口 56,000 人の日高市において 65 歳以上の高齢者の割合は 26.9%と全国平均よりも高く、2035 年には 37.5%となる見込みです。高齢者の割合が増えることは、医療需要の高まりも予測されます。

また、市内には病床数 700 床、年間手術件数 4,900 件以上の高度急性期医療を担う埼玉医科大学国際医療センターがあり隣接の毛呂山町にも埼玉医科大学病院があります。

しかし、急性期後のポストアキュート機能を担う病院は市内には当院を含め 2 病院であり、回復期病床数は、地域包括ケア病床が当院を含め 37 床、回復期リハビリテーション病床が 47 床です。

高度急性期病院からの紹介患者は、手術後のリハビリを目的として当院を選択されるケースもあり、ポストアキュート機能を有する回復期病床をより充実させ、その受け皿となることが地域において当院の果たすべき役割であると考えます。

こうした役割を明確にし、近隣医療機関との連携を図ることが、地域医療に貢献できる最たるものであると考えております。

また、在宅や介護施設からの緊急及び施設入所を待つ間の繋ぎとしての入院にも応えていきたいと考えております。現に療養病床のうち 30 床は、平均在院日数 46 日、在宅復帰率 57.6%を超えており、回復期としての機能を果しております。

新たに設置する回復期病床は、サブアキュートとしての機能も担い、地域完結型医療に寄与するよう取り組んでまいります。

以上のことから、転換計画と致しまして、現在の急性期及び慢性期の病床利用率も鑑み、一般病床のうち 7 床及び療養病床 30 床の合計 37 床を地域包括ケア病床に転換し、回復期病床を 26 床から 63 床へ変更致します。

また、その先の展開として回復期リハビリテーション病床への転換も考えております。

可及的速やかに病床の転換を実施し、圏域の医療機関及び施設との連携をより一層図り、地域に貢献できる病院を目指してまいります。

7 変更前の病院機能の概要 (平均在院日数は R1.7~9、病床利用率 H30.10~R1.9 の 1 年間)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
西館 3 階病棟	26 床	急性期	10.7 日	79.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 4	
西館 3 階病棟	26 床	回復期	19.6 日	94.8%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
本館 3 階病棟	60 床	慢性期	166.8 日	97.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
東館 4 階病棟	30 床	慢性期	46.1 日	96.1%

	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1
診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、脳神経外科、 整形外科、外科、婦人科、耳鼻いんこう科、小児科、皮膚科、リハビリテーション科 放射線科			
診療実績（平成 30 年 10 月～令和元年 9 月） 【 手術の実施状況 】 整形外科手術（大腿骨、股関節、膝関節の骨折）21 件 （その他）19 件 瘻孔切除、乳腺手術 2 件 【 がん・脳卒中・心筋梗塞への治療状況 】 がんについては抗がん剤治療及び疼痛管理、脳卒中・心筋梗塞については一時診断のみ 行い、治療は行っていない。 【 重症患者の治療状況 】 重症患者については超急性期病院へ紹介している。 【 救急医療の実施状況 】 二次救急医療機関として救急車受入れ 302 件／年 【 在宅復帰への支援状況 】 入退院支援室（看護師で構成）及び社会福祉士が入院から在宅への退院までを支援 している。			
患者の受入状況 年間新入院者数 831 人（平成 30 年 10 月～令和元年 9 月）			
【 高度急性期・急性期病院、自院 】 埼玉医科大学国際医療センター 106 人（12.8%） 埼玉医科大学病院 21 人（2.5%） 埼玉石心会病院 32 人（3.9%） 武蔵台病院 3 人（0.4%） その他 14 医療機関 26 人（3.1%） その他 4 医療機関 17 人（2.0%） 自院（外来・救急・訪問診療） 416 人（50.1%） 【 介護施設、診療所 】 老健あさひヶ丘 50 人（6.0%） 特養 清雅園 68 人（8.2%） 岡村記念クリニック 15 人（1.8%） その他 20 診療所 33 人（4.0%） その他 31 介護施設・在宅施設 44 人（5.3%） 【 訪問診療を行う患者数 】 624 人			

8 変更後の病院機能の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
西館 3 階病棟	19 床	急性期	10.7 日	84.2%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 4	

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
西館 3 階病棟	26 床	回復期	19.6 日	94.8%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館 3 階病棟	60 床	慢性期	166.8 日	97.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
東館 4 階病棟	37 床	回復期	46.1 日	94.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 3	

医療（介護）連携見込み	
【 紹介元・紹介先 】	
<医療機関>	<介護施設>
埼玉医科大学国際医療センター	清雅園（特養）
埼玉医科大学病院	老健あさひヶ丘
埼玉石心会病院	ゆうらく日高
武蔵台病院	日高のんびり館
丸木記念福祉メディカルセンター	日高ふるさと館
関越病院	ふるさとホーム日高
池袋病院	ふるさとホーム毛呂山
埼玉医科大学総合医療センター	ベテラン館こまがわ
坂戸中央病院	ベストライフ鶴ヶ島
飯能整形外科病院	あしかり園
霞ヶ関南病院	さかどロイヤルの園
飯能靖和病院	
原田病院	
東京曳舟病院	
岡村記念クリニック	
水村医院	
奥田整形外科	
横田医院	
高田医院	
竹井内科	
めぐみのクリニック	
島村医院	
鶴松整形外科医院	
しんまちクリニック	

9 医療従事者

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	10	28	5.61			
看護職員	59	12	7.23			
看護補助者	32	4	2.42		予定なし	
その他	55	20	10.16			
計	156	64	25.42			

10 その他

新たな連携先の開拓については、今後も継続して地域で開催される各職種同士の連携協議会へ積極的に参加するとともに、自院所有の救急車を活用し、入院をスムーズに行います。

また、当院の立地は川越市、鶴ヶ島市、坂戸市といった圏域外の医療機関にも近く、日高市在住の方も入院されております。圏域外の医療機関及び施設からの受入れも積極的に行わせて頂き、実績を積み上げていくことで、連携先として継続できるよう努力してまいります。